

袋井市立袋井南中学校（令和2・3年度人権教育研究指定校）

1 研究主題

「自分らしさを生かして 共に生きる」生徒の育成 ～自分らしさに気づき、お互いの存在や良さを認め合う集団づくり～

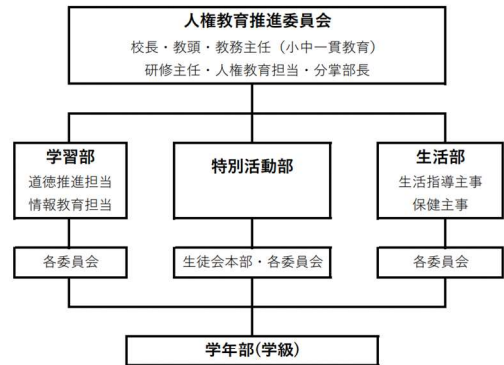
2 研究主題設定の理由

南の丘学園（幼小中一貫教育を進める本中学校区の名称）では、「夢に向かい自分らしさを生かしてともに輝く子の育成」を目標に、一人一人が自分らしさに自信を持ち、その自分らしさを生かして社会に貢献しようとする思いや態度を身に付けた子どもの育成を目指している。これを受け、本校でも「主体的に行動し、自分らしさを発揮できる生徒」「人との関わりや協働の喜びを実感できる生徒」を目指す生徒像に、4つの承認「存在・意欲・行動・成果」の強化を意識して教育活動に取り組んでいる。

教育活動全般において人権教育を強く意識し、組織的に取り組むことにより、自分の良さに気づくとともに、人との関わりを大切にすることができる生徒の姿が実現すると考え、本主題を設定した。

3 研究の推進体制

人権教育を学校全体で推進するため、人権教育推進委員会を立ち上げ、今ある活動に人権の視点を加えて、各分掌で、生徒がお互いを認め合うにはどのような活動が展開できるかを考えるようにした。



4 研究の内容

- ・人権教育推進委員会の立ち上げ
- ・教職員を対象とした人権に関するアンケートの実施と分析
- ・人権教育に対する理解を深める校内研修の実施（人権を意識した授業づくり、4つの承認、ICTの活用、情報モラル、スクールカウンセラーによる生徒理解、性の多様性など）
- ・人権の視点から校則を見直す検討会の実施
- ・人権が尊重される授業づくりを意識した一人一授業公開の実施と事後研究
- ・「静岡県人権教育の手引き」を活用した授業実践
- ・道徳や総合的な学習の時間を活用した取組
- ・全校生徒対象の人権講話の実施
- ・人権啓発活動の実施（一言プラスあいさつ運動（生活）、Best of 授業（学習）、清掃パトロール（整美）、部活動で頑張った人の報告（部長会）、体育大会での振り返り（特別活動）、ステキ発見（福祉）、文化発表会（南風祭）での認め合い活動（学習、掲示）など
- ・人権週間における取組（差別・偏見やLGBTに関する主張を聞いての感想、お互いの良さを認め合う活動、「平等と公平」や「出所した人への偏見」に関する主張を聞いての感想、自分にもできることを宣言する活動など）
- ・幼保子小中一貫教育の学園研修会における人権教育研究の実践報告



5 2年間の成果

○教職員アンケートの結果(抜粋)

項目	令和2年度当初	令和3年度12月
生徒の言葉遣いに注意を払ったり、自身も丁寧な言葉遣いをしたりして、生徒の模範となるようにしている	58%	90%
授業や学校生活の中で、生徒が友達の意見や努力、成果を認め合うような場面を設定している	46%	100%

・人権教育の研究を通して、教育活動を人権の視点で見つめ直したり、生徒の言動を肯定的に捉えようとしたりするなど、教職員の人権感覚が高まった。

○生徒アンケートの結果(抜粋)

項目	令和2年度当初	令和3年度12月
自分には自分なりの良さがある	79%	89%
自分の良いところや頑張っていることが認められていると感じる	74%	85%

・お互いを思いやり、友だちを認める言葉掛けが増えた。
 ・生徒主体の委員会活動が増えたり、学級活動などで役割を果たしたりすることで、自分が必要とされると感じる生徒が増えた。

6 課題及び今後の取組

- ・友だちの良さを認めようとする生徒が多い一方、周りから必要とされていると感じていない生徒もいるため、自分なりの良さがあること、自分は大切にされていることを実感できる場面を積極的に設ける。
- ・人権は日常のすべてに関わっているという意識を教職員も生徒も持ち続け、人権感覚をより一層高める。